

科目名（英文表記）	<b>ビジネス倫理</b> <b>( Business Ethics )</b>		
科目区分	基本科目	単位数	2 単位
担当教員名	南 健悟	ナンバリング	MBA_B_EL 5111
研究室番号		研究室電話番号	
Eメール・アドレス	minami.kengo@nihon-u.ac.jp		
<b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載			
<b>授業の目的：</b> この授業では、経営者等が身につけるべき「企業倫理」について概観し、具体的なケースを通じて、企業がどのように行動すべきであるのかを明らかにしつつ、実際に会社経営にとって必要なスキルを修得することが目的である。より具体的には、企業倫理とは何か（企業倫理の意義）、なぜ企業は倫理的な行動を要求されるのか（企業倫理の必要性）、また、どのような行動が倫理的な行動といえるのか（倫理的行動の具体化）、また倫理的行動の一種としての法令遵守経営など、このような観点から企業倫理の問題を捉え、実際に会社経営を行うに当たり、どのような行動をとるべきであるのか、ということ認識することが目的である。 またこの講義ではゲストスピーカーにより、実際の不祥事対策・不祥事対応方策等についても話を頂く予定である。			
<b>到達目標：</b> この授業の到達目標は、経営者として、管理者として、また従業員として、企業経営に携わる者が、企業倫理やコンプライアンスの必要性を認識し、事業活動を行っていくうえで、倫理的又は法的な問題が生じた場合に、予めそれを防止したり、対応したりするための能力を身につけることにある。			
<b>使用教材：</b> 教科書は指定しないが、ビジネス倫理を学ぶに当たって以下の文献を紹介する。 ○高巖『ビジネスエシックス [企業倫理]』（日本経済新聞出版社、2013年） ○山口利昭『不正リスク管理・有事対応』（有斐閣、2014年） ○中東正文他『会社法（有斐閣ストゥディア）（第2版）』（有斐閣、2021年刊行予定） また、今年度は、一部、澁谷展由他『第三者委員会報告書30選』（商事法務、2020年）に取り上げられた第三者委員会報告書をケース分析で使用する。なお、他の資料等（第三者委員会報告書等）はE-Learningにアップしておく。			
<b>成績評価の方法：</b> 成績評価は、以下の評価項目に基づいて行う。 ○出席：10% ○講義への参加及び貢献度（質問やディスカッションにどれだけ参加していたか）：20% ○事前及び事後課題：30% ○最終プレゼンテーション：40% 評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。			
<b>履修上の注意事項：</b> ○講義には積極的に発言（質疑応答）すること。 ○欠席の際には、別途課題を課す。 ○各モジュールの内容については、ゲストスピーカーの場合には変更することがある。 ○休講が発生し、モジュールのスケジュールが前後する場合がある。			